

令和3年度 社会福祉法人 平成福社会 本部事業報告書

一. 法人概要 (1) 設立等	認可年月日	平成元年7月4日	(2) 法人運営	理事	定数 8名
	登記年月日	平成元年7月14日		監事	定数 2名
(3) 経営事業				評議員	定数 9名

事業の種別	名称	定員	事業開始
1種 障害者支援施設(施設入所支援・生活介護)	シャイン	50名	平成22年10月1日
2種 障害福祉サービス事業(短期入所)		2名	平成5年4月1日
2種 介護老人保健施設	ハイム・ゾンネ	84名	平成12年4月1日

二. 法人本部の役割

理事長直属の機関として、両施設における①コンプライアンス(法令遵守)の徹底と②相互牽制と規則に基づく組織運営(コーポレートガバナンス)による不正行為発生防止機能や③危機管理機能、④情報公開機能を担うとともに、当会が民間事業者としての創意工夫や経営の効率性を発揮し⑤地域の付託に応え、良質なサービスを合理的な価格で持続的かつ安定的に提供するために必要な利用者処遇向上ならびに職員の人事施策を企画立案し、⑥両施設の運営を機動的に支援しました。

三. 役員会等の開催状況

1. 理事会評議員会の開催状況と審議事項

議事録署名人は、理事会は出席理事及び監事全員。評議員会は都度、評議員会議長が2名を指名する。なお決議の省略時は、書面等により全員の同意確認。

(1) 令和3年5月22日 第1回 理事会/書面

議案	①令和2年度 事業報告	議案	定について
	②令和2年度 決算と監事監査結果		⑥定時評議員会の招集事項(招集通知に記載する事項)について
	③令和2年度 社会福祉充実残額の算定結果について	報告	①理事長及び常務理事の職務の執行状況について(令和3年2月～令和3年4月)
	④評議員選任・解任委員会委員の交代について		②大口寄付の報告
	⑤理事候補者ならびに監事候補者の選		

(2) 令和3年6月2日 定時評議員会/書面

議案	①令和2年度 事業報告	議案	結果
	②令和2年度 決算と監事監査結果		④理事及び監事の選任について
	③令和2年度 社会福祉充実残額の算定	報告	①大口寄付の報告

(3) 令和3年6月11日 第2回 理事会/書面

議案	①理事長の選定について	議案	評議員候補について
	②常務理事の選定について		①理事長及び常務理事の職務の執行状況について(令和3年5月)
	③評議員選任・解任委員会に推薦する	報告	

(5) 令和3年6月17日 第1回 評議員選任・解任委員会

議案	①評議員の選任について
----	-------------

(6) 令和3年9月4日 第3回 理事会/書面

報告	①理事及び常務理事の職務の執行状況	報告	について(令和3年6月～令和3年8月)
----	-------------------	----	---------------------

(7) 令和3年12月4日 第4回 理事会

報告	①令和2年度社会福祉施設等施設整備費補助金によって実現した障害者支援施設シャインの大規模修繕工事のサービス等	報告	改善効果の検証
			②理事長及び常務理事の職務の執行状況について(令和3年9月～令和3年11月)

(8) 令和4年3月15日 第5回 理事会/書面

議案	①令和3年度 補正予算	議案	する記載内容を、職員の配置状況の変化に合わせ改定することについて。
	②令和4年度 事業計画		⑤役員及び評議員の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改定について
	③令和4年度 取支予算	報告	⑥臨時評議員会の招集と当該評議員会の決議の省略(書面決議)について
	④障害者支援施設シャインの運営規程に、⑦国の基準改正にそって「身体拘束等の禁止」等に係る規定を追加することに合わせ、⑧県がその記載を努力義務とする県独自の規定を明記することとし、同時に重要事項説明書の自己負担額(利用料)に関		①理事長及び常務理事の職務の執行状況について(令和3年12月～令和4年2月)

(9) 令和4年3月28日 第2回 評議員会/書面

議案	①令和3年度 補正予算	議案	独自の規定を明記することとし、同時に重要事項説明書の自己負担額(利用料)に関する記載内容を、職員の配置状況の変化に合わせ改定することについて。
	②令和4年度 事業計画		⑤役員及び評議員の報酬等並びに費用弁償に関する規程の改定について
	③令和4年度 取支予算		
	④障害者支援施設シャインの運営規程に、⑦国の基準改正にそって「身体拘束等の禁止」等に係る規定を追加することに合わせ、⑧県がその記載を努力義務とする県		

2. 監事監査 令和4年5月11日 実施予定 (鎌井監事と中西監事による)

3. 経営企画会議の開催状況

〔開催日〕 4月30日、5月25日、6月29日、7月27日、8月24日、9月28日、10月26日、11月16日、12月21日、1月25日、3月1日

〔参加者〕 大田理事長、辻本常務理事、尾崎理事、矢内理事、林ハイム・ゾンネ理事・施設長、藍ハイム・ゾンネ管理医師、早川シャイン施設長、

四. 重点課題への取り組み

1.	法人課題への取り組み・・・ 共通施策																
(1) 新型コロナウイルス感染防止対策	令和3年度は、感染の第4波が大阪・兵庫で拡大するタイミングで始まりました。施設では4月5日に職員の同居家族がPCR陽性と判明、警戒感が高まる中で富田徹夫監事が勤務地大阪で感染され入院先が見つからないまま発症後5日目に新宮のご自宅で4月25日急逝されました。当会は近隣の医療体制が“救える命が救えない”状態まで逼迫していると認識、施設は可能な限りの感染防御体制をとりました。(両施設の事業報告ご参照)																
(2) コミュニケーション研修～メンタルヘルス対策	県の支援を受け、産業カウンセラーを招聘。精神分析学の最新理論に基づき、自身も知らない自身の性格上の傾向を知った上で、グループワークを通じ、無頓着な言動が人間関係に亀裂を入れる怖さと、自分を変えることは常に可能であることを学びました。(シャインは「オミクロン株」急拡大を受け開催を延期、次年度に繰り越してしています。)																
(3) 職員の健康づくり	県「健康づくりチャレンジ企業」に登録、半額補助を受けて施設ごとに職員専用の全自動血圧計を設置しました。導入理由は、全国健康保険協会“協会けんぽ”が当会の健診データを保険者として分析した「事業所健診カルテ2021年版」によれば、当会職員は、生活習慣病のうち、血圧リスク保有率が兵庫支部・同業種全国平均のいずれも上回っている上、悪化する傾向にあることから、職員が自らの身体を労り、血圧に気をつける習慣づけを図ろうとしたものです。職員が健康を害し療養休職したり業務効率が低下することは、本人にとって不幸である上、当会にとっても、労働人口減少環境で、かけがえの無い財産を失うに等しいことから、健康増進の働き掛けを続けます。																
(4) 多様な労働力の確保～外国人材との協働	佐用日本語学校(久崎)の学生2人が、ハイム・ゾンネで用務員・環境整備班(頻回接触箇所の消毒、ベトナム・室内清掃)として活躍。進学のため今春退職となるも、別の1人が他社より転職し当会勤務中。施設は手探りで受け入れでしたが、学生の丁寧な仕事ぶり謙虚さは、言葉の壁を超えて利用者からも好評で、労働力として一定の目途が立ったため、他の看・介護職員をケア業務に集中させることができました。留学生コミュニティからの好評価に甘んじることなく、引き続き外国人材が安心して働ける環境づくり・処遇の提供に留意してまいります。																
2.	危機管理・・・ リスクの予測と備え																
非常用自家発電設備と事業継続用エネルギーの研究	ハイム・ゾンネの防災用専用機の改修に合わせ、巨大地震発生時のBCP見直しに着手。送電停止や断線、交通網混乱によるガソリン・灯油不足も想定し、エネルギーの複数化と燃料備蓄を視野に、岩谷産業(株)の協力も得て、LPガス災害バルク等幅広く研究しています。																
3.	法人一体運営・・・ 法人単位の経営を担保する仕組み																
(1) ガバナンス(法人統治)	ルールに基づく組織運営のため諸規程を整備するも、最後は“個人の資質”																
(2) 決済ライン(会計・給与システムは本部・施設統合済)	資金と人事運営は拠点で完結させず、理事長と常務理事決済を要する基準を設け、三拠点の一体運営体制と、多層監視体制を確保しています。																
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>本部</td> <td>ハイム・ゾンネ</td> <td>シャイン</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>起案総数</td> <td>76</td> <td>230</td> <td>135</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>うち理事長(%)</td> <td>4(5.0)</td> <td>53(18.7)</td> <td>31(18.7)</td> <td>110(16.6)</td> </tr> </table>		本部	ハイム・ゾンネ	シャイン	合計	起案総数	76	230	135	455	うち理事長(%)	4(5.0)	53(18.7)	31(18.7)	110(16.6)
	本部	ハイム・ゾンネ	シャイン	合計													
起案総数	76	230	135	455													
うち理事長(%)	4(5.0)	53(18.7)	31(18.7)	110(16.6)													
4.	経営戦略・・・ 当会を維持・発展させる仕掛け																
(1) コンプライアンス(法令遵守)	県情報公開システムで自主点検結果を公表(ハイム・ゾンネは2月1日、シャインは6月24日)																
(2) 働きやすい職場づくり～就業規則の解釈変更	独自施策「消滅有給の積立」で、家族介護に充てる場合に、コロナ感染や感染(疑い)、子の学校休業による出勤不能まで適用範囲を拡大																
(3) 人材育成・・・役割期待の認識・自覚を促し、当会サービスの質的向上を狙うもの。 (ア) キャリアパス制度 (イ) 処遇改善	今年度も介護福祉士合格2名(ゾンネ) 両施設の合格者累計は20名となる。他産業平均年収440万円を超える介護職員(生活支援員)は、ゾンネが6名(22名中)、シャインが6名(24名中)																
(4) 地域貢献・公益的な活動・・・地域の付託と期待に応える公益性の発揮。 (ア) 清掃活動 (イ) Xmas保育園訪問 (ウ) 消防団夜食差入 (エ) 鹿肉給食と地産地消	「善意の日」の国道清掃は、令和3年度は実施せず。 町立保育園の園児342名に長靴お菓子、園に電化製品を寄贈(2011年～) 南光支団37名、三日月支団32名に地産地消弁当を無償提供(2012年～) お楽しみ給食や「和食の日」に、地産地消の伝統的な和食やソウルフードを提供																